

**オープンソースソフトウェアである IP-PBX「Asterisk」をベースに開発した
IP ビジネスフォンサービス「BIZTEL（ビズテル）」の提供を開始**

BIZTELは、専用レンタルサーバにLinux上で動くIP-PBXサーバをインストールすることによって、ウェブ・メール・IPビジネスフォンシステムの一元的な管理・運用を実現するサービスです。

専用レンタルサーバのリーディングカンパニーである株式会社リンク（本社：東京都港区 / 代表取締役社長：岡田 元治 / 以下「リンク」）は6月19日より、IP電話のシステムインテグレータであるエムトゥエックス株式会社（本社：東京都千代田区 / 代表取締役社長：眞崎 浩一）との共同開発によるIPビジネスフォンサービス「BIZTEL」をスタートします。

BIZTELは、初期費用とランニングコストを抑えることによって、中小企業におけるIP電話の普及障壁となっていた「高コスト」「小メリット」というデメリットを取り去ると同時に、ビジネス電話として必要かつ十分な機能を提供する画期的なサービスです。

BIZTELは低コストかつ高機能

オープンソース IP-PBX「Asterisk」を使用

BIZTELは、IP-PBXにオープンソースソフトウェア「Asterisk」を使用することで、圧倒的に安い初期コストを実現しています。また、これにより、機能のカスタマイズや、ウェブ・メールなど他のオープンシステムとの連携といった自由度も高まります。

IP-PBXの社内設置が不要

BIZTELで使用するIP-PBXは、リンクが24時間365日のフルサポート体制で運営するAT-LINK専用サーバ・サービス（以下「at+link」）のデータセンター内に設置します。これにより、社内に設置されたIP-PBXの年間保守費用は一切不要になります。

レンタルでありながら、1ユーザにつき1台のIP-PBXの専用利用環境を提供

BIZTELは、すべてのユーザに、専用のサーバと専用のIP-PBXソフトウェアを提供します。そのため、IP-PBX機能のレンタルサービスであるIPセントレックスのように、ビジネスフォンとして使える機能が制限されることなく、ユーザはそれぞれすべてのIP-PBX機能を独占的に使用することができます。

電話機には、オリジナルの高機能ソフトフォンを使用

BIZTELは、月間固定費（15,750円）で、高機能ソフトフォンを必要な数だけ自由に使うことができます。通話料の安さばかりが目されるIP電話ですが、導入時における電話機のIP化には、通常1台あたり数万円のコストがかかります。BIZTELなら、全社員にソフトフォンを配布し、ハードフォンの台数を減らすことで、導入費用を劇的に抑えることができます。

インターネットへの接続環境さえあれば、どこからでもビジネス電話機能が利用可能

BIZTEL は、利用する ISP（インターネットサービスプロバイダー）を限定しません。自宅・外出先・海外など、インターネットへの接続環境が得られる全ての場所で内線通話環境が実現するため、内線通話化による通話料の削減はもちろんのこと、オフィスの内外を問わない完全なフリーアドレスが実現します。

(ネットワークイメージ)



料金 (税共)

初期費用	31,500 円
月間利用料	15,750 円 (外線用電話番号 5 個の使用を含む)
電話番号追加	初期費用 525 円 ・ 月額 315 円 (いずれも 1 番号あたり)

通話料

国内への通話 (税共)	
国内 (全国一律)	9.45 円 / 3 分
携帯電話	18.9 円 / 1 分
PHS	18.9 円 / 1 分

海外への通話 (非課税)	
アメリカ	7.99 円 / 3 分
中国	5.4 円 / 1 分
イギリス	6.3 円 / 1 分
オーストラリア	6.3 円 / 1 分
フランス	6.3 円 / 1 分

サービスの詳細については <http://biztel.st/> をご覧ください。

Red Hat ならびに Red Hat Enterprise Linux ES は、Red Hat, Inc.の商標または登録商標です。「AT-LINK 専用サーバ・サービス(at+link)」ならびに「BIZTEL」のロゴマークとサービス名称はいずれも、株式会社リンクの商標または登録商標です。その他記載されている商品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。

Asterisk (アスタリスク) について

BIZTEL が活用しているソフトウェア「Asterisk」は、米国ディジウム社代表、マーク・スペンサー氏の開発によるオープンソース IP-PBX (Private Branch eXchange)。無償でありながら、ダイヤルイン・保留・転送・短縮ダイヤル・コールバック等の一般的なビジネスフォン機能に加え、音声自動応答・ボイスメール・電話会議といった先進機能をも搭載していることが大きな特徴です。

従来の PBX はメーカー毎に仕様が異なるため、PBX と電話機は同じメーカーのものを選ぶ必要がありました。また、仕様が公開されずいわゆる “ブラックボックス” であったため、CTI (Computer Telephony Integration) による顧客応答システムやグループウェア等の業務アプリケーションと連携をとろうとしても、自社レベルではなかなか対応できないという事情を抱えていました。

その点 Asterisk は、ハードウェアとしての電話機だけでなく、PC や PDA にインストールして使うソフトウェア形式の電話(ソフトフォン)が Asterisk に対応していれば使えるため、導入コストを大幅に抑えることができます。また、オープンソースソフトウェアの属性として、独自の改変を加えて機能を追加する、既存アプリケーションとの連携が容易な API (Application Programming Interface) を使ってシステムを構築するといったことも可能です。

コンピュータで動く基本ソフトウェア (OS : Operating System) の歴史を振り返ると、独自仕様の OS から Linux に代表されるオープンソース OS へと流れが変わりつつあります。同様に、ビジネスの電話環境が従来の PBX/IP-PBX から Asterisk に代表されるオープンソース IP-PBX へと移行していくのは、きわめて自然の流れといえるでしょう。

Asterisk の取り込みという意味では欧米に多少先行された日本ですが、昨年頃から Asterisk に関する書籍の出版が続いているほか、今年に入って一般企業や地方公共団体への導入事例も報告され、さらには Asterisk ベースの IP-PBX を実現するソフトウェアやアプライアンスが登場しはじめるなど、関心は徐々に高まりつつあります。5 年後 10 年後は「2006 年こそ日本の Asterisk 元年だった」といわれているのかもしれませんが。

【株式会社リンクについて】

株式会社リンク (本社:東京都港区 / 設立年月日:1987 年 11 月 18 日 / 代表取締役社長:岡田 元治) は、専用ホスティングサービスとオンラインモールの運営を主要業務としています。サポートに定評のある AT-LINK 専用サーバ・サービスは、2006 年 5 月末現在の契約数が 6,600 台超にのぼり、専用サーバフィールドでは国内最大級といわれています。2005 年 3 月には、レッドハット社とアドバンスドホスティングパートナー契約を締結し、商用 Linux 市場においてトップシェアを誇る Red Hat Enterprise Linux ES の無償提供を世界で初めて実現しました。ユーザは大企業・官公庁から中小企業・SOHOなど、およそ 2,200 社。利用形態は企業のメールサーバ・ウェブサーバからオンラインショップやモバイルビジネスまで多岐におよびます。

AT-LINK専用サーバ・サービスの詳細は <http://www.at-link.ad.jp/> をご覧ください。

<リリースに関するお問い合わせ先>

株式会社リンク BIZTEL デスク
info@biztel.st

TEL: 03-4590-6699

または

共同 PR 株式会社 担当:武内 / 菅原 TEL:03-3571-5326

n-takeuchi@kyodo-pr.co.jp